



脱炭素を楽しくかっこよく。

踏み出そう脱炭素ライフスタイルへの一歩！

市民協働ファシリテーター養成研修  
ワークショップレポート



# 報告の流れ

1. 地球温暖化対策室のニーズ
2. 開催概要
3. ワークショップの流れ
4. WSのアウトプット
5. 気づき
6. 提言
7. 私たちの宣言

# 地球温暖化対策室のニーズ



① 市民にアクションを実践していただくために、事業者や行政が連携して取り組むための仕掛け

② 市民が地球温暖化を自分ごととして捉え、2050年の脱炭素ライフスタイル像を目指していただくための手法

# WSの開催概要

脱炭素を楽しくかっこよく。  
踏み出そう脱炭素ライフスタイルへの一歩！

日時：2023年11月21日 10:00-12:00

場所：京都御池創生館B1F

参加者：市民など9名

(20～50代、うち学生1人)



# WSの流れ

## 1. 目標と現状の共有

「脱炭素につながるこんなことしています！」

## 2. アイデアの発掘

「50年後の京都はどんな暮らし？」

## 3. アイデアの深掘り

「あなたがやってみたい、実現したい暮らしは？」

## 4. アイデアの具現化

「脱炭素ライフスタイルの一步を踏み出すための  
〇〇が実現！」

## 5. 共有

## 6. 振り返り

きっかけづくりが大切

# WSのアウトプット

緑化の義務化

メリットがないとやらない

何かを新しく作るより、  
すでにあるものを大切にしたい

余暇発電

京町屋を残したい

自家発電

おしゃれじゃないとやらない  
(エコバックはおしゃれだから  
流行ったのでは?)

(住んでみると快適)

(レベル1~5段階  
評価で見える化)

自給自足

ソーラーパネルも必要以上にはいらない

(それ以上は必要ない)

(わざわざ農地にまで置かなくも  
いいのでは? 農業しようよ!)

# アウトプットからの気づき

- きっかけづくりが大切

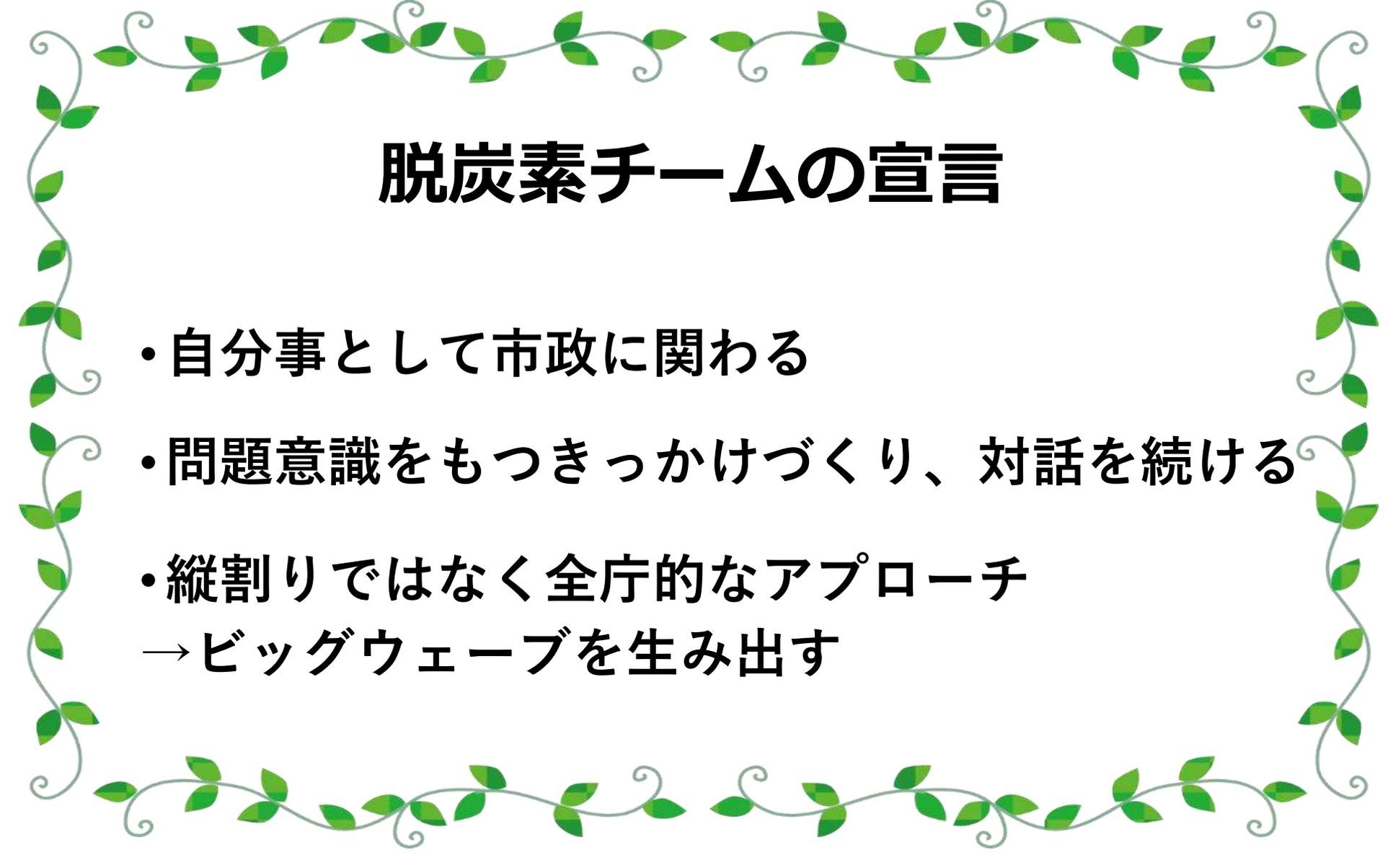
⇒ 知れば興味を持っていただけるかもしれない。  
興味のない人が「脱炭素」にふれる機会をどう作るか！

- メリットがないとやらない

⇒ 「自分ごととして捉える」という責任感だけでは限界がある。  
メリットを知っていただくこと、創出することが重要！

- あるべきものはあるべき姿で、必要以上のものはいらない

⇒ 新規投資にばかり目がいくが、すでにあるものを活用すること、  
自然と共生する生き方に立ち返ることも大切！



# 脱炭素チームの宣言

- 自分事として市政に関わる
- 問題意識をもつきっかけづくり、対話を続ける
- 縦割りではなく全庁的なアプローチ  
→ ビッグウェーブを生み出す

**ご清聴ありがとうございました**

